

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

中部西小学校の子どもたちの健やかな成長を願い支えるために、保護者や地域のニーズを把握しながら互いに協力しあって、対話と参加参画による特色ある学校づくりを推進することをねらいとします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①学校運営委協議会会議について

本校では運営協議会の会義を、運営協議会委員10名で学校参画委員会として年2回開催し、それ以外にも民生委員や各団体の代表を含めた約40人で構成する拡大参画委員会を年4回開催し、グループ討議を行うなど、より多くの地域の方の意見を学校運営に反映できるように工夫しています。



②防災教育

昨年度に引き続き、5年生が地域の自治会と連携して、防災学習を行いました。毛布を使って担架を作ったり、発電機で実際に電気を起こしたり、非常用持ち出し袋を児童一人ひとりが家から持ちより、交流し、中身の紹介と必要性を確認したりして、学習を深めました。



③郷土資料室整備委員会



秋の学校公開での参加参画型授業において、3年生が保護者とともに「中部西小学校の昔と今」をテーマにした授業が行われました。

今年は市制120周年事業として、共同地区社会福祉協議会、むくの木会が中心となって、中部西小学校の歴史パネルを制作したので、昨年度までの郷土資料室の学習に加えて、新しい歴史パネルを使用した学習を行いました。

郷土資料室や歴史パネルの整備に関わった郷土資料室整備委員会のメンバー

をゲストティーチャーに招いて、中部西小学校の歴史や、それぞれの時代の地域の人たちの思いについてのお話を伺いました。その後、3年生の保護者や地域の方々と子どもたちで資料室と新しいパネル資料を見学しました。その際、本校の卒業生である保護者から、子どもたちに当時の話をする姿も見られました。子どもたちにとっては珍しい昔の道具でも、大人にとっては懐かしいこともあって、いろいろな話がはずみました。

④まちかど音楽会

本校の校区は、四日市市の中心部、古くから商店街として発展してきた地域でこれまで、学校公開をはじめ、地域の方々にお越しいただく取り組みを行ってききましたが、平成23年度より、子どもたちが学校から地域に出かけるという発想で「まちかど音楽会」を試みています。

本校区の特徴である商店街、雨天でも実施ができるアーケードの中で、地域の方や、保護者を運営スタッフとして第7回の「まちかど音楽会」を実施しました。

事前に地域ボランティアの方々と打合せ会義を行い、前年度の反省をもとに、意見をいただき、よりよいものになるようにしています。今年度は、毎年懸案となっていた通路の確保についてのアイデア

が出され、試行したところ、問題が大幅に改善されました。また、当日は会場の設営や、音響、防犯対策、児童管理としてトイレの誘導など、たくさんの地域の方々や、保護者の活躍により、子どもたちの歌声が商店街に響き、買い物帰りの道行く人が足を止めて聴いていく、温かい手作りの音楽会となりました。本年度も昨年度に引き続き、フィナーレに中部西小学校校歌を全員合唱したりして、会場が一つになることができました。

また、地域の方々に協力をいただき、子どもたちの手作りの「まちかど音楽会ポスター」を校区の様々なお店や場所に掲示していただきました。地域の方々からのポスターに対する温かいお褒めの言葉もいただき、子どもたちのさらなる意欲に繋がりました。



④学習支援ボランティア等

授業、クラブ、委員会での学習支援員をはじめ、朝の読書の時間の読み聞かせ

を行う図書支援ボランティアの方々に一年間お世話になりました。クラブでは一緒に汗を流したり、専門的な指導をしたりして、支えていただきました。朝の読書では、子どもたちも読み聞かせに来ていただける方の顔を覚え、読み聞かせがあるたびに嬉しそうに聞いている姿が印象的でした。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度は、コミュニティスクールの直接の取り組みではありませんが、市制120周年事業として、共同地区社会福祉協議会・むくの木会（中部西小 PTA）を中心に本校の歴史パネルを制作し、本校を会場として実施された「ふれあいひろば」、四日市市文化会館の「中部西小学校歴史パネル展」で展示されました。そこには予想を超える大勢の地域の方々や卒業生が集まり、本校の歴史の重さと、地域とのかかわりの深さを再度認識するとともに、これまでのコミュニティスクールの取り組みの成果を実感することができました。

学校評価保護者アンケートでは、「参加参画型の教育活動や体験活動は充実している」という項目に対して、昨年度と同様に98%の保護者から肯定的な意見をいただくことができました。

まちかど音楽会、春秋の参画型授業などでは、拡大学校参画委員会の中で、グループで話し合う中からご意見をいただき、それを参考にしてより良いものを作り上げていくというサイクルができつつあり、10年余りの取り組みの成果が表れてきたといえます。また、行事だけでなく、日常の教育活動、子どもたちの生活についても地域の方々の見守りと協力が欠かせないものとなっています。

3 今後に向けて

今後の展望として、拡大学校参画委員会において、様々な意見をいただきました。

児童、保護者アンケートに関して、概ね満足できる結果となり、肯定的なご意見をいただくことができました。コミュニティスクール10年を経過し、地域や学校に根付いてきています。

その一方で、内容の固定化や、行事の大規模化に伴い、運営の負担も増しているという課題があります。良いものについては定番化することも必要ですが、新たな取り組みも模索していく必要があります。また、まちかど音楽会などの行事は、年々観覧者も多くなり、運営面の工夫や効率化が必要です。

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立中部西学校

委員長 中村裕行

校長 小倉秀樹

月	協議会の開催	活動内容
4		
5	第1回学校参画委員会 (拡大委員会) ふれあいパトロール 学校公開2日間	顔合わせ, 今年度の活動について・150周年に向けて 下校見守り 参加・参画型授業の公開
6	ふれあいパトロール	下校見守り
7	第2回学校参画委員会 (拡大委員会) ふれあいパトロール	春の学校公開, 1学期の取り組みについて, 秋の学校公開について 下校見守り
8	むくの木会による親子体験 行事	
9	ふれあいパトロール	下校見守り
10	ふれあいパトロール	下校見守り
11	ふれあいパトロール 学校公開 まちかど音楽会	下校見守り 参加・参画型授業の公開 商店街での音楽会
12	第3回学校参画委員会 (拡大委員会) ふれあいパトロール	秋の学校公開, まちかど音楽会反省, 2学期の取り組みの反省 等 下校見守り
1	第4回学校参画委員会 (参画委員会) ふれあいパトロール	アンケートをもとにした関係者評価 学校づくりビジョンの承認 等 下校見守り
2	第5回学校参画委員会 (拡大委員会) ふれあいパトロール	アンケートをもとにした関係者評価 1年間の取り組み, 来年度の方向性の承認 下校見守り
3		

【様式2】

平成29年度運営協議会経費支出内訳書

平成30年 3月 2日

次のとおり、経費支出の報告をします。

四日市市立 中部西小学校

委員長 中村裕行

校長 小倉秀樹

費目	金額	明細
需用費 (消耗品費や地域の特性を生かした教育活動費等)	50,000円	ピンプラグ10mコード 3,780円 ロープ打ち込み釘70本 5,250円 ラミネートフィルムA3 1,860円 ラミネーターK026J 18,900円 RISO マスターDタイプ 18,369円 ステンレスポスト 1,841円
需用費 (新指定校の印刷製本費)	0円	
合計	50,000円	